

生物基礎 だ腺染色体の観察

2年次生が生物基礎「遺伝子」の学習として「アカムシのだ腺染色体の観察」を行いました。アカムシは通常の細胞分裂のときに観察される染色体の約200倍の大きさをもつだ腺染色体と呼ばれる特殊な染色体が存在します。生徒の感想として「頭を上手にひっこぬけなかった」「パフや遺伝子の位置をはっきり見ることができた。すごく難しかった。」

「アカムシの命を実験に使うのは悲しい気持ちがしました。ありがたく実験することが大切だと感じました。」などがありました。生徒にとって、これまでの机上の学習が目の中の命とつながる、記憶に残る授業となったのではないかと思います。



観察されただ腺染色体

